

**研究タイトル：**

## 情報推薦技術による適応型 e-Learning システムの開発



<b>氏名：</b>	吉岡 貴芳/YOSHIOKA Takayoshi	<b>E-mail：</b>	yoshioka@toyota-ct.ac.jp
------------	--------------------------	----------------	--------------------------

<b>職名：</b>	教授	<b>学位：</b>	博士(工学)
------------	----	------------	--------

<b>所属学会・協会：</b>	電子情報通信学会, 教育システム情報学会, 日本多読学会
-----------------	------------------------------

<b>キーワード：</b>	英語多読学習法, 情報推薦, Web ベースシステム
---------------	----------------------------

<b>技術相談 提供可能技術：</b>	・Web ベースプログラミング
-------------------------	-----------------

### 研究内容： 教授データベースを利用した自立的英語多読学習支援システムの開発

英語運用能力を向上させるためには、英語そのものを使用する訓練が必要である。そのために効果的な方法である多読・多聴を授業内で行うためには、教員はファシリテータとして学習支援を行う(数千冊以上の膨大な図書から、個々の学生の嗜好や学習進度に合った図書を推薦する)必要がある。しかし、クラスサイズが比較的大きい場合や、授業の制約上課外で多読をせざるを得ない学生、さらには公共図書館で英語多読を行う一般社会人に対しては、個別指導が十分に行き届かないという問題がある。一方で教員の授業ノウハウは学会等で報告されているものの、定型化されておらず共有や再利用が困難という問題がある。

そこで、以下の目的において研究を行っている。

- (1)学習者の読書状況を分析し、学習が順調に進んでいる状況と、そうでない状況の判別
  - ・学習者の読書履歴を計算機により分析し、学習進度を判別するアルゴリズムの開発
- (2)多読・多聴を行う際の、図書選択のための教授法の定型化
  - ・教授側の図書推薦の基準を共有することを目的としたフォーマットの規定
  - ・教員の図書推薦基準を基にしたジャンル別・難易度別図書データベースの作成  
(※図書のジャンルおよび難易度は、英語学習研究会 SSS が設定したものをを用いる)
- (3) (2)で明確にした教授法を用いるICTによる学習支援システムの開発
  - ・既開発の英語多読学習支援システムに、学習状況判別および図書推薦機能の実装
  - ・携帯型端末における英語多読学習支援システムの開発

多読授業を実践している教員の授業ノウハウを定式化するためのフォーマットを定め、かつ電子化することで、より多くの教育機関での多読・多聴授業に活用することができる。現実世界での学習(ここでは実際の図書を利用した多読・多聴)とコンピュータによる学習支援という blended-Learning による学習環境を実現することにより、多くの多読・多聴実践者や教育者へ研究の成果を提供する。

#### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	